

自治体学会賞受賞者一覧

第1回(2011年度)

賞の名称	受賞者(敬称略、所属は受賞当時)	受賞対象、テーマ等
田村明まちづくり賞	特定非営利活動法人 赤煉瓦倶楽部舞鶴	「地域資源を活かした舞鶴のまちづくり」
研究論文賞	岩橋浩文(熊本県庁)	「都市環境行政法論—地区集合利益と法システム」(法律文化社)
	石平春彦(上越市議会議員)	「都市内分権の動態と展望～民主的正統性の視点から」(公人の友社)
論文奨励賞	津軽石昭彦(岩手県庁)	「地方議会における議員提案条例の意義」(年報自治体学第19号)
	鈴木洋昌(川崎市役所)	「自治体現場からみた新しい公共のありよう ～廃棄物処理事業を事例として」(年報自治体学第20号)
	河東賢(韓国地方行政研究院)	「政策移転過程における韓国ローカルマニフェスト運動の論理形成」 (年報自治体学第20号)

第2回(2012年度)

賞の名称	受賞者(敬称略、所属は受賞当時)	受賞対象、テーマ等
田村明まちづくり賞	特定非営利活動法人 新町川を守る会	「川を活かしたまちづくり～徳島県新町川を守る活動～」
研究論文賞	今井 照(福島大学行政政策学類教授)	「『平成大合併』の政治学」(公人社)
	山本正憲(堺市東区役所)	「日本の地方公務員の人件費研究～地方分権時代における給与と福利厚生 の公民均衡のあり方を焦点に」(星雲社)
論文奨励賞	大谷基道(公益財団法人日本都市センター)	「地方自治体における非正規雇用の現状～行政内部の格差解消策と 地方公務員制度との関係」(年報自治体学第21号)
	發知和弘(埼玉県庁)	「医療制度改革計画に見る国と都道府県の新たな関係」 (年報自治体学第22号)
	脇田英樹(札幌市中央区役所)	「分野別基本条例に関する一考察～求められる機能・役割・性質と あり方について」(年報自治体学第20号)

第3回(2013年度)

賞の名称	受賞者(敬称略、所属は受賞当時)	受賞対象、テーマ等
田村明まちづくり賞	高野誠鮮(羽咋市歴史民俗資料館館長)	「限界集落からの脱却」
	長崎さるくを推進した長崎市と多数の市民団体	「長崎さるく」
研究論文賞	金井利之(東京大学大学院法学政治学研究科教授)	「原発と自治体—『核害』とどう向き合うか」(岩波ブックレット)
	黒木誉之(熊本県庁)	「自治概念の動態性に関する基礎理論～ガバナンス社会における政治・行政のパラダイム」(『現代自治行政学の基礎理論』成文堂出版)
自治体学研究奨励賞	長野 基(首都大学東京都市環境学部准教授)	「市区町村議会の改革とその成果に関する軽量的分析」 (『自治体学』25-1 2012年春号)

第4回(2014年度)

賞の名称	受賞者(敬称略、所属は受賞当時)	受賞対象、テーマ等
田村明まちづくり賞	油津まちづくり活動諸団体	「日南市油津の歴史を活かした市民主体のまちづくり」
	八甫谷邦明(『季刊まちづくり』編集長)	「まちづくり雑誌の編集によるまちづくり活動への支援」
研究論文賞	藤井誠一郎(行政管理研究センター)	「住民参加の現場と理論—鞆の浦、景観の未来」(公人社)
自治体学研究奨励賞	田中富雄(三郷市役所)	「議会基本条例の制定背景からみた、自治基本条例の促進要因」 (『自治体学』26-2 2013年春号)
	粕谷美路(横浜市役所)	「横浜市栄区の保育園における保育資源のネットワーク化の試み」 (『自治体学』27-1 2013年秋号)

第5回(2015年度)

賞の名称	受賞者(敬称略、所属は受賞当時)	受賞対象、テーマ等
田村明まちづくり賞	遠野物語ファンタジー制作委員会	「市民の舞台『遠野物語ファンタジー』」
	特定非営利活動法人 黄金町エリアマネジメントセンター 公立大学法人 横浜市立大学 横浜市文化観光局、都市整備局、中区役所	「横浜市黄金町地区再生まちづくり活動」
研究論文賞	井上武史(福井県立大学地域経済研究所)	「原子力発電と地方財政—『財政規律』と『制度改革』の展開」 (晃洋書房)
自治体学研究奨励賞	中村健人(小松島市役所)	「孤立死に関する一考察 —葬祭の実施・公営住宅の明渡・相続財産 管理人の選任について—」(『自治体学』28-1 2014年秋号)
	村中洋介(首都大学東京法科大学院助教)	「地方公共団体の発する避難勧告の適法性 —佐用町集中豪雨 事件を事例に一」(『自治体学』28-2 2015年春号)

第6回(2016年度)

賞の名称	受賞者(敬称略、所属は受賞当時)	受賞対象、テーマ等
田村明まちづくり賞	株式会社 大宮産業	「集落のライフラインを守る住民組織づくり」
	北島 力(まちづくりネット八女・代表)	「町家再生からひろがるまちづくり」
研究論文賞	授賞なし	
自治体学研究奨励賞	授賞なし	

第7回(2017年度)

賞の名称	受賞者(敬称略、所属は受賞当時)	受賞対象、テーマ等
田村明まちづくり賞	特定非営利活動法人 日本上流文化圏研究所	「山梨県早川町の風土と暮らしを活かし山村の再生をめざす活動」
	特定非営利活動法人 夢空間松代のまちと心を育てる会	「長野市松代町の歴史を活かした地域住民主体のまちづくり」
研究論文賞	自治体学会議員研究ネットワーク	「Q&A 地方議会改革の最前線」(学陽書房)
自治体学研究奨励賞	授賞なし	

第8回(2018年度)

賞の名称	受賞者(敬称略、所属は受賞当時)	受賞対象、テーマ等
田村明まちづくり賞	津軽こみせ株式会社及び活動をサポートされてきた	「『こみせ』など伝統的なまちなみを生かした地域の活性化活動」
	株式会社オガール、岩手県紫波町	「公民連携による紫波町オガールプロジェクトの活動」
研究論文賞	磯崎初仁(中央大学教授)	「知事と権力ー神奈川から拓く自治体政権の可能性」(東信堂)
自治体学研究奨励賞	渡部朋宏(福島県会津美里町職員)	「福島原発事故避難の実態と『住民』概念の転換」(『自治体学』31-1 2017年秋号)
	圓生和之(名古屋商科大学)	「地方公務員給与の水準上昇イメージの要因分析」(『自治体学』31-2 2018年春号)

第9回(2019年度)

賞の名称	受賞者(敬称略、所属は受賞当時)	受賞対象、テーマ等
田村明まちづくり賞	千里市民フォーラム	「ニュータウンにおける住民主導の多彩なプラットホーム活動」
	コトラボ合同会社 代表 岡部友彦	「地域資源を活用した各地における地域再生活動」
自治体学研究奨励賞	出雲明子(東海大学)	「働き方改革と公務労働ー同一労働同一賃金による労働法と公務員法の接近ー」(『自治体学』32-2 2019年春号)

第10回(2020年度)

賞の名称	受賞者(敬称略、所属は受賞当時)	受賞対象、テーマ等
田村明まちづくり賞	熊本大学ましきラボ	「被災を契機とした創発的なまちづくり活動ー益城町における地域づくり」 『ましきラボ』を通じた復興まちづくりの実践』

山竹町まちづくり賞	益城だいすきプロジェクト・きままに 代表者 吉村静代	「被災を契機とした創発的なまちづくり活動—益城町における地域づくり」 『震災を乗り越え新しいコミュニティ形成へと展開している住民の多様な交流活動』
研究論文賞	鈴木洋昌(川崎市役所)	「総合計画を活用した行財政運営と財政規律」(公人の友社)
	板垣勝彦(横浜国立大学)	「地方自治法の現代的課題」(第一法規)

第11回(2021年度)

賞の名称	受賞者(敬称略、所属は受賞当時)	受賞対象、テーマ等
田村明まちづくり賞	川越町並み委員会、川越蔵の会、都市景観課 など川越市、川越商工会議所、専門家の歴代 の方々	「川越市における地域住民、専門家、行政などの連携した、「川越町 並み委員会」を中心とした約40年の継続的まちづくり」
研究論文賞	渡部朋宏(福島県会津美里町役場)	「住民論 統治の対象としての住民から自治の主体としての住民 へ」(公人の友社)
自治体学研究奨励賞	鈴木栄之心(慶應義塾大学SFC研究所)	「公的介護保険制度における市町村の保険料設定行動—「介護保険 財政データベース」の構築による実証分析(『自治体学』34-2 2021年 春号)

第12回(2022年度)

賞の名称	受賞者(敬称略、所属は受賞当時)	受賞対象、テーマ等
田村明まちづくり賞	熊本県人吉市ひまわり亭代表 本田 節	「『ひまわり亭・リュウキンカの郷』を中核としたまちづくりの取組」
	臼杵の歴史的景観を守る会元会長・ 臼杵城泊研究会会長 齋藤 行雄	「臼杵市の町並み保存をはじめとする多様なまちづくりの取組」
研究論文賞	内海麻利(駒澤大学)	「決定の正当化技術—日仏都市計画における参加形態と基底価値」 (法律文化社)

自治体学研究奨励賞	長谷川健(四日市市役所)	「新型コロナのまん延防止を目的とした「要請」についての法的検討～社会的圧力による行政指導の事実上の強制について～」(『自治体学』35-2 2022年春号)
-----------	--------------	---

第13回(2023年度)

賞の名称	受賞者(敬称略、所属は受賞当時)	受賞対象、テーマ等
田村明まちづくり賞	新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム	「文化・芸術が息づく街、新百合ヶ丘の活性化を目ざす、地域の多様な主体が参画するまちづくり活動」
	むらかみ町屋再生プロジェクト	「村上城下町における古民家再生を中心とした地域活性化のための多様な活動」
研究論文賞	北村喜宣(上智大学)	「空き家問題解決を進める政策法務－実務課題を乗り越えるための法的論点とこれから」(第一法規)
研究論文賞	磯崎初仁(中央大学)	「地方分権と条例－開発規制からコロナ対策まで」(第一法規)
自治体学研究奨励賞	韓旖睿、池邊このみ、白琳、孫冰玉(千葉大学)	「地域の景観・文化資源としての雪形の特性に関する研究－主に雪形への住民意識と地方自治体における観光利活用等の現状調査」(『自治体学』36-1 2022年秋号)
自治体学研究奨励賞	高木超(慶應義塾大学大学院)	「SDGsの主流化に向けた先行自治体の政策過程分析－北海道下川町の総合計画策定を事例として」(『自治体学』36-2 2023年春号)
自治体学研究奨励賞	安藤加菜子(京都大学大学院)	「大学奨学金についての市町村の役割－鳥取県・島根県の市町村事例を中心に」(『自治体学』36-2 2023年春号)